

ケ 消 防

事業名			防火水槽整備事業		会計	01	一般会計		予算区分	政策
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予算科目	款	09	消防費		
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防				項	01	消防費		
						目	03	消防施設費		
主管課		消防本部 消防防災課			主管課長		高市 薫		事業コード	03 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）					
	火災により救護等を必要とする市民				消防水利の適正配置として消火栓に偏らず防火水槽とのバランスがとれた防火対策を強化する。					
事業内容	消防法第20条第1項の規定により定められた「消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）」に基づき、消防水利を適正に整備し、さらに開発行為等の消防水利の設置指導により市内の消防水利の充実を図るために防火水槽の設置を行なうもの。									
事業の実績	消防水利の基準による防火水槽の充足率	52	%	決算額	財源内訳	事業費計		26,824,000 円		
						国庫支出金	21,380,000 円			
						県支出金	0 円			
						分担金・負担金	0 円			
						使用料・手数料	0 円			
						基金繰入金	0 円			
						地方債	4,400,000 円			
						その他特定財源	1,044,000 円			
					一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果	消防水利の基準における防火水槽の容量は40㎡以上とされるが、過去に整備された防火水槽には40㎡未満の容量のものも設置されている。			繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定		無
					前年度からの明許繰越額26,824,000円 翌年度への明許繰越額17,172,000円					



整備した防火水槽

事業名			消防指令業務共同運用事業		会計		01 一般会計		予算区分		政策				
政 策		02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予 算		款		09 消防費							
施 策		2-3 自然災害・都市災害への備えと予防		算 科		項		01 消防費							
				目		目		03 消防施設費							
主管課		消防本部 消防防災課				主管課長		高市 薫		事業コード		04 — 58			
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）										
	災害等の出動指令及び情報伝達				千葉北西部消防指令センターにて受報した災害等に、迅速・的確な出動指令及び情報伝達を行うことで、災害による被害の軽減を図る。										
事業内容	松戸市、市川市、野田市、浦安市、鎌ヶ谷市、流山市の6市により、松戸市消防局内に設置された千葉北西部消防指令センターにおいて消防指令業務が開始されたものであり、消防指令施設を共同で運用する費用の負担金と当市単独整備分による消防指令施設を稼働するもの。														
事業の実績	救急車の現場到着時間				9分3秒		決算額	財源内訳	事業費計		59,904,918 円				
									国庫支出金		0 円				
									県支出金		0 円				
									分担金・負担金		0 円				
									使用料・手数料		0 円				
									基金繰入金		0 円				
									地方債		0 円				
									その他特定財源		0 円				
								一般財源		59,904,918 円					
指標で表すことができない定性的な成果						繰越・継続費の状況		繰越の有無		無		継続費の設定		無	



指令管制室の様子

事業名			高規格救急自動車整備事業			会計		01 一般会計		予算区分		政策		
政 策			02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予 算		款 09 消防費						
施 策			2-3 自然災害・都市災害への備えと予防			項		01 消防費						
						目		03 消防施設費						
主管課			消防本部 消防防災課			主管課長			高市 薫		事業コード		05 ― 65	
事業目的	対象（誰を・何を）					意図（どういう状態にしたいのか）								
	高規格救急自動車					当該車両の更新整備により、救急救命士の救急救命処置を積極的に実施し、救命率の向上を図る。								
事業内容		平成26年度から救急隊を中央消防署へ1隊増隊するため、新たに高規格救急車1台を整備し、救急隊を5隊にて運用するもの。												
事業の実績	救急救命処置実施件数			157 件		決算額	財源内訳	事業費計		30,607,450 円				
								国庫支出金		7,000,000 円				
	救急出動件数			6,457 件				県支出金		3,965,000 円				
								分担金・負担金		0 円				
								使用料・手数料		0 円				
								基金繰入金		0 円				
								地方債		17,100,000 円				
								その他特定財源		0 円				
							一般財源		2,542,450 円					
指標で表すことができない定性的な成果					繰越・継続費の状況		繰越の有無		無		継続費の設定		無	



購入した高規格救急自動車

事業名			南消防署建設事業		会計	01	一般会計		予算区分	政策
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予算	款	09	消防費		
					科目	項	01	消防費		
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防				目	目	03	消防施設費	
主管課		消防本部 消防総務課			主管課長		秋谷 哲夫		事業コード	05 — 81
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）					
	消防職員				消防防災体制の強化。					
事業内容		老朽化し手狭となった南消防署庁舎を解体し、同場所に新庁舎を建設した。								
事業の実績	コンサルタントとの打ち合わせ回数		35		回	決算額	財源内訳	事業費計		488,204,115 円
	工事の進捗率		100		%			国庫支出金		0 円
								県支出金		0 円
								分担金・負担金		0 円
								使用料・手数料		0 円
								基金繰入金		0 円
								地方債		327,900,000 円
								その他特定財源		55,086,500 円
一般財源		105,217,615 円								
指標で表すことができない定性的な成果				繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定		有
					平成24年度から2か年継続事業541,453,500円 平成25年度決算額479,293,500円 前年度からの通次繰越額94,586,500円 翌年度への明許繰越額2,685,000円					



建設された南消防署新庁舎

事業名			非常用発電設備整備事業		会計		01 一般会計		予算区分		政策	
政 策		02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予 算 科 目		款 09 消防費						
施 策		2-3 自然災害・都市災害への備えと予防				項 01 消防費						
						目 03 消防施設費						
主管課		消防本部 消防総務課			主管課長		秋谷 哲夫		事業コード		05 — 83	
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）							
	消防職員				自然災害等による不測の事態に対応する							
事業内容		東消防署及び北消防署に自家発電設備を設置する。										
事業の実績	自家発電設備設置			2 基		決算額	財源内訳	事業費計		13,177,500 円		
								国庫支出金		0 円		
								県支出金		0 円		
								分担金・負担金		0 円		
								使用料・手数料		0 円		
								基金繰入金		0 円		
								地方債		13,100,000 円		
								その他特定財源		0 円		
							一般財源		77,500 円			
指標で表すことができない定性的な成果		停電が発生した場合でも、災害出動及び通常勤務が停滞することはない。			繰越・継続費の状況		繰越の有無		無		継続費の設定 無	



北・東署に設置した非常用発電設備

事業名			避難場所案内板等整備事業		会計		01 一般会計		予算区分		政策			
政 策		02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予算科目		款 09		消防費						
施 策		2-3 自然災害・都市災害への備えと予防		目		項 01		消防費						
				目		05		災害対策費						
主管課		市民生活部 防災危機管理課			主管課長		石田 和成		事業コード		02 — 54			
事業目的		対象（誰を・何を）					意図（どういう状態にしたいのか）							
		市民等					避難場所の周知を図る。							
事業内容		市民等が地域の避難場所を確認できるように避難所案内板等を市内各所に設置する。												
事業の実績		避難所案内板の設置数		43		か所		決算額		事業費計		4,034,100 円		
		（平成25年度新設）		4		か所				国庫支出金		0 円		
										県支出金		0 円		
		（平成25年度更新）		22		か所				分担金・負担金		0 円		
										使用料・手数料		0 円		
										基金繰入金		0 円		
										地方債		0 円		
										その他特定財源		0 円		
一般財源								4,034,100 円						
指標で表すことができない定性的な成果		避難場所等が確認できることにより、市民の安心・安全に寄与する。			繰越・継続費の状況		繰越の有無		無		継続費の設定		無	



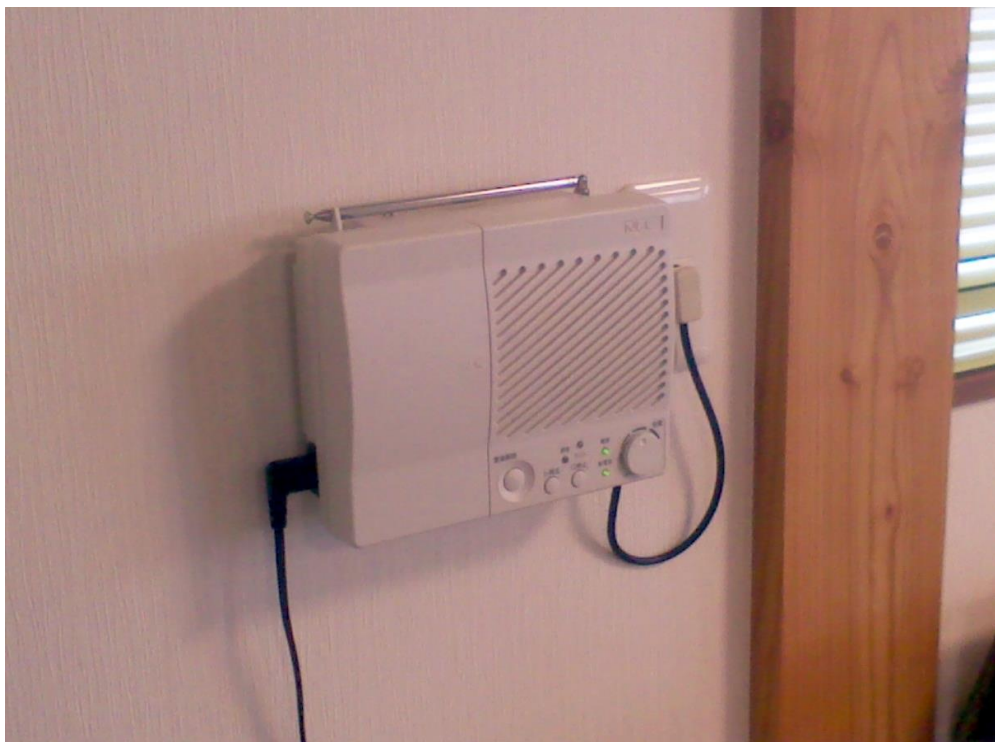
野々下第一公園に設置された避難場所案内板

事業名 自主防災組織防災資機材整備事業				会計 01 一般会計		予算区分		政策			
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款 09	消防費					
					項 01	消防費					
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防							目 05	災害対策費	
主管課		市民生活部 防災危機管理課			主管課長		石田 和成		事業コード 02 — 58		
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）						
	自主防災組織				自主防災組織の防災力の向上及び共助意識の醸成。						
事業内容	自主防災組織が使用する防災資機材の購入に要する経費の一部を補助する。										
事業の実績	防災資機材整備事業補助金活用自主防災組織	39		組織	決算額	財源内訳	事業費計		1,732,000 円		
				国庫支出金			0 円				
				県支出金			1,430,000 円				
				分担金・負担金			0 円				
				使用料・手数料			0 円				
				基金繰入金			0 円				
				地方債			0 円				
				その他特定財源			0 円				
						一般財源	302,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果	共助として地域の防災力の向上に寄与する。			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定		無	



平和台周辺5自治会合同防災訓練の様子

事業名				防災行政無線戸別受信機整備事業				会計		01 一般会計		予算区分		政策	
政 策		02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予算科目		09 消防費		01 消防費							
施 策		2-3 自然災害・都市災害への備えと予防		目		05 災害対策費									
主管課				市民生活部 防災危機管理課				主管課長		石田 和成		事業コード		02 — 61	
事業目的				対象（誰を・何を） 避難所等及び市民等				意図（どういう状態にしたいのか） 災害時における情報伝達手段の多様化を図る。							
事業内容				防災行政無線の戸別受信機を災害時に避難所となる公共施設及び自治会等に配置する。											
事業の実績		戸別受信機整備済数		297		個		決算額		財源内訳		事業費計		16,656,061 円	
												国庫支出金		7,600,000 円	
		（平成24年度整備）		58		個						県支出金		0 円	
												分担金・負担金		0 円	
		（平成25年度整備）		239		個						使用料・手数料		0 円	
												基金繰入金		0 円	
												地方債		0 円	
												その他特定財源		7,802,298 円	
								一般財源		1,253,763 円					
指標で表すことができない定性的な成果		災害時に必要な情報を確実に届けることにより、市民の安心・安全に寄与する。				繰越の有無		有		継続費の設定		無			
		繰越・継続費の状況				前年度からの明許繰越額15,402,298円									



配置された防災行政無線戸別受信機

事業名			ヘリポート用誘導灯整備事業		会計		01 一般会計		予算区分		政策	
政 策			02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予算科目		09 消防費					
施 策			2-3 自然災害・都市災害への備えと予防				01 消防費					
							05 災害対策費					
主管課			市民生活部 防災危機管理課			主管課長			石田 和成		事業コード 02 — 62	
事業目的			対象（誰を・何を） ヘリコプターを保有・運用する防災機関			意図（どういう状態にしたいのか） 有事の際のヘリコプターによる人員・物資の輸送のため、臨時ヘリポートにおける夜間の離発着を可能とする。						
事業内容			臨時ヘリポート用の可搬式の誘導灯を整備する。									
事業の実績			災害予防について安全だと思う人の割合		49.5 %		決算額		事業費計		1,449,000 円	
									国庫支出金		0 円	
									県支出金		1,040,000 円	
									分担金・負担金		0 円	
									使用料・手数料		0 円	
									基金繰入金		0 円	
									地方債		0 円	
									その他特定財源		0 円	
									一般財源		409,000 円	
指標で表すことができない定性的な成果			災害時の夜間にもヘリの離発着が可能となり、市民の安心・安全に寄与する。			繰越の有無			無		継続費の設定 無	
			繰越・継続費の状況									

事業名		新市街地地区小中学校併設校防災拠点整備事業			会計		01 一般会計		予算区分		政策		
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	予算科目	款	09 消防費				
								項	01 消防費				
								目	05 災害対策費				
主管課		市民生活部 防災危機管理課			主管課長		石田 和成		事業コード		02 ― 63		
事業目的	対象（誰を・何を）					意図（どういう状態にしたいのか）							
	市民等					災害時に防災拠点でもある避難所に避難した人の命や安全を守る。							
事業内容		おおたかの森小・中学校に防災施設を整備し防災拠点とする。防災備蓄倉庫ほかを整備する。											
事業の実績	防災備蓄倉庫整備済件数			22 件		決算額	財源内訳	事業費計		16,177,400 円			
								国庫支出金		11,408,000 円			
								県支出金		0 円			
								分担金・負担金		0 円			
								使用料・手数料		0 円			
								基金繰入金		0 円			
								地方債		4,100,000 円			
								その他特定財源		53,400 円			
					一般財源		616,000 円						
指標で表すことができない定性的な成果		防災拠点が整備されることにより、市民の安心安全に寄与する。			繰越・継続費の状況	繰越の有無		有		継続費の設定		有	
						平成25年度からの2か年継続事業49,225,000円 平成25年度決算額4,416,000円 前年度からの明許繰越額11,761,400円 翌年度への通次繰越額3,523,000円							

事業名			災害用井戸設置事業			会計		01 一般会計		予算区分		政策		
政 策			02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予算科目		09 消防費						
施 策			2-3 自然災害・都市災害への備えと予防					01 消防費						
								05 災害対策費						
主管課			市民生活部 防災危機管理課			主管課長			石田 和成		事業コード		03 — 51	
事業目的			対象（誰を・何を） 市民等			意図（どういう状態にしたいのか） 災害時における飲料水、生活用水を確保する。								
事業内容			避難所となる小・中学校、公民館等に災害用井戸を設置する。また、既設の災害用井戸について、水質検査を実施し、飲用可能と判断する災害用井戸に順次、ろ水機、商用電源、発電機、ろ過装置、タンク、給水蛇口等からなる災害用井戸ポンプ施設の整備を図る。											
事業の実績			整備件数		30 件		決算額		事業費計		7,069,020 円			
									国庫支出金		1,920,000 円			
									県支出金		0 円			
									分担金・負担金		0 円			
									使用料・手数料		0 円			
									基金繰入金		0 円			
									地方債		400,000 円			
									その他特定財源		105,500 円			
									一般財源		4,643,520 円			
指標で表すことができない定性的な成果			避難所に災害用井戸が整備されることにより、市民の安心・安全に寄与する。			繰越の有無		有		継続費の設定		無		
			繰越・継続費の状況			前年度からの明許繰越額2,425,500円								



東部公民館に設置した災害用井戸